

総合単元名	本当の友情	10月～12月	全10時間
めざす子ども	信頼し、学び合い、助け合いながら、友情を深めていく子	中心項目	2-(3)
ねらい	互いに信頼し、学び合って友情を深め、協力して助け合っ ていこうとする態度を育てる。	関連項目	2-(4)

単元設定の理由
 児童はみんな、よい友達関係を築きたいという願いをもっている。しかし、自分の立場や利害などで一方的な行動をとってしまい、友達の気持ちをよく考えた行動をとりにくい児童もいる。そこで、望ましい友達関係とはどういうものか深く考えさせ、学び合うことで友情を深め合い、助け合うことのできる友達関係をつくらうとする態度を育てたいと考え、本単元を設定した。

時期	教科・特別活動 総合的な学習の時間等	道徳の時間	常時活動 家庭との連携	子どもの意識の深まり	
10月	①学校行事 10月(2時間) 「運動会」 友達と協力して行 事を成功させたとい う達成感を味わ うことができる。	②<信頼・友情> 2-(3)10月(1時間) 「はと車」 しばらく電話の前で立 ちすくんでいたかしの 気持ちを考えること を通して、友達から学 ぶ大切さに気付き、友 達同士互いに信頼し、 その都度学び合いなが ら、友情を深めよう とする心情を育てる。		①互いに協力したからこそ成 功したんだな。協力はやは り大切だな。だけど難しいこ ともあったな。 ②自分のこだわりにとらわれる と友情はこわれてしまうな。 友達を信じること、よさを学 ぶことをしていきたいな。	
11月	③学校行事 11月(2時間) 「音楽発表会」 友達と協力して音 楽を創り上げたとい う達成感を味わ うことができる。	④<謙虚・寛容> 2-(4)11月(1時間) 「組体操」(本時) お母さんの言葉を聞いた つよしの気持ちを考 えることを通して自分 とちがう立場の人の気 持ちを思いやることの 大切さに気付き、広い 心で自分と異なる意見 や考えを大切にしよう とする心情を育てる。	(★係・当番活動) 友達と声をかけ合い、 助け合いながら活動 することができる。	③みんなで心を合わせた発表 はとても気持ちよかったな。 教え合いをしてよかったな。 ★係の仲間はやさしい声をか けてくれるな。自分もそんな 友達になりたいな。 ④広い心をもち相手をゆるす のは簡単ではないけどして いきたいな。	
	⑤学級活動 11月(1時間) 「学級の諸問題に ついて考える」 日常の友達関係の あり方について考 え合い、解決して いこうとすること ができる。		(◆帰りの会) 友達のよさを見つけ 合い、そのよさを学び 合っていくことがで きる。	⑤友達はいろいろな思いを持 っているんだな。気持ちを 大切に力になりたい ◆友達はこんなによいところ があるんだ。自分も頑張って みようかな。	
12月	⑥家庭科 11月(1時間) 「まかせてね今日の食 事」 友達と協力して調 理実習に取り組む ことができる。	⑦<信頼・友情、助け合い> 2-(3)12月(1時間) 「ロレンゾの友だち」 かしの木の下の話をも とに3人の気持 ちを考えると通 して、友達を信頼し理 解しようとする大切 さに気付き、互いに信 頼し、理解し合っ て友情を深め、心 から助け合っ ていこうとする 態度を育てる。		(■業間遊び) みんなが楽しく遊 べるような内容を考 え、協力しながら仲 間づくりをすること ができる。	⑥友達と協力したから楽しく効 率よく調理ができてよかった な。 ⑦大切なのはどれだけ相手の 立場に立って真剣に考 え理解しようとするかとい うことなんだね。 ■みんなが仲良く遊べるよう に助けながら行動してい こう。 ⑧みんなの思いを一つに合わ せたから心に残る発表にな ったね。これからもみんなと 一緒に助け合いながら頑張 っていこう。
	⑧体験活動 12月(1時間) 「ミュージックフ ェスティバル」 みんなで力を合わ せ、音楽を創り上 げていく楽しさや 達成感を味わう ことができる。				
信頼し、学び合い、助け合いながら、友情を深めていく子					

「道徳の時間」学習指導案

指導者 若林 栄見子

- 1 日時 平成24年11月19日(月) 第5校時
- 2 学年 第6学年 男子9名 女子17名 計26名
- 3 主題名 ゆるすということ 中心項目 2-(4) 〈謙虚・寛容〉
関連項目 2-(3) 〈信頼・友情、助け合い〉
- 4 ねらい お母さんの言葉を聞いたつよしの気持ちを考えることを通して、自分とちがう立場の人の気持ちを思いやることの大切さに気づき、広い心で自分と異なる意見や考えを大切にしようとする心情を育てる。
- 5 資料名 組体操 (出典：小学校心の元気Ⅰ 広島県教育委員会)

6 主題設定の理由

- 相手の気持ちや立場を考えて、認め合い許し合う心をもつことは、人との関わりをより気持ちよく、深いものにするために欠くことができない。人との関わりが希薄になりがちな現代において、謙虚で寛大な気持ちをもって人と対する心の広さを育てることが、強く求められている。

6年生にとって一つ一つの行事はとても大切である。それは、小学校生活では、もう経験できないものだからである。行事を大切な思い出の一つにしようとして真剣に取り組んでいればいるほど、それができなくなったとき、自分の腹立たしい気持ちをおさえることが難しくなる。自分の気持ちを前面に出すだけではよりよい人間関係を気付くことができない。そこで、相手を許さないという行為は、一人の思いだけでなく集団全体にも影響を与えることにも気付かせ、互いに許し合うことの大切さを考えさせることが大切と考え、本主題を設定した。

- 本学級の児童は、最高学年として全校の手本になろうという意識が高い。廊下の歩き方やあいさつ・縦割り掃除の仕方など一生懸命にする姿が見られる。しかし、それらのことができていない時や違う考えを示した時、低学年は許せても6年生同士となると自分の主張が強くなり違う意見を受け止めることができないことがある。討論会をしても、異なった意見を聞いて自分の考えが広がったととらえるより、自分の考えが受け入れられなかったととらえてしまう。

事前アンケート「相手の立場に立ち、素直に違う意見を受けとめることができますか。」は46%の児童が肯定的な回答をした。否定的な児童の理由として「自分の立場を考えてしまう。」「素直に受け止めることができない。」というものであった。また「寛大な心をもって他人の過ちを許すことができますか。」は70%の肯定的回答であった。否定的な回答の理由は、「広い心をもてない。しかえしをしたくなる。」「過ちは過ちだから。」が多かった。これらのことから、自分のことが先に立ったり違う考えが素直に受け取れなかったりすることがうかがえる。

児童の中には、自分の思いが伝わらなかったり、否定されたりすると、急に荒い言動をする児童がいる。しかし、事前アンケートはすべて肯定的回答をしている。

- 本資料は、運動会で行う組体操をがんばって練習していた前日に主人公のつよしが骨折をし、骨折の要因をつくったわたるに対して感じる気持ちの変化を考える内容である。

導入では、10月に行った運動会のビデオを見て資料への関心を高めさせる。展開前段では、わたるがあやまった時、顔をそむけたつよしの気持ちを考えさせる。中心発問では、お母さんの「一番つらい思いをしているのは、つよしじゃなくてわたるくんだと思う・・・。」の言葉を聞いた時、つよしがどんな思いであったかを考えさせ、今までつよし気付かなかった観点から人を許すことの大切さに気付かせたい。展開後段では、その夜、わたる君へ電話をかけようと受話器を取った時のつよしの言葉を考え、違う立場の人の気持ちを考えることの大切さにも気付かせたい。終末では、心のノート「やわらかいこころ」を読み、詩の意味を考え相手と分かりあおうとする広い心を持つという気持ちを高めたい。

学習後は、帰りの会で自分の一日を振り返り、帰りの会で友達の良さを見つけ合い良さを学ぶ
合うことで道徳的価値を高めていきたい。

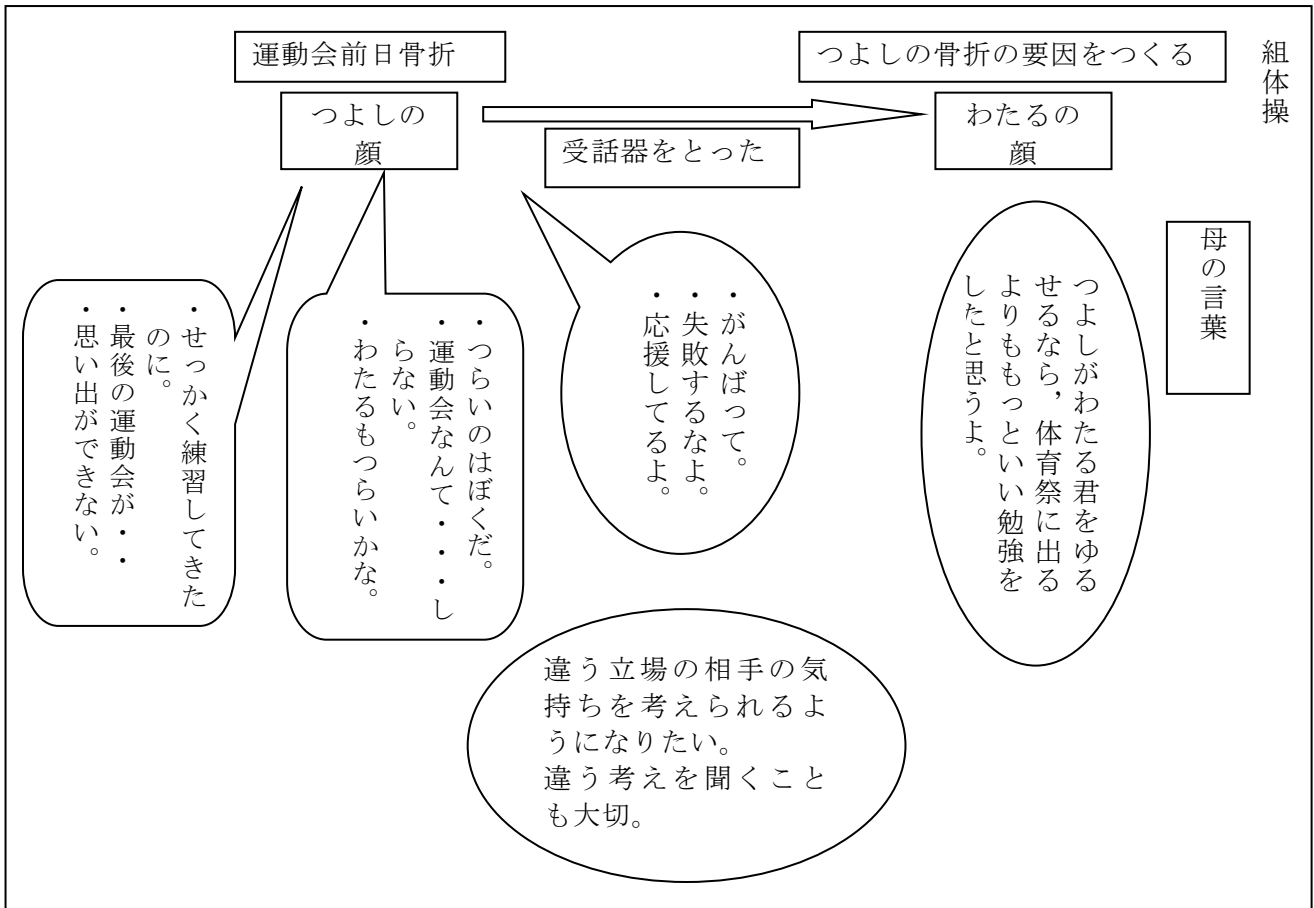
「伝え合う」については、学習プログラムの内容を本時の内容とかかわらせながら考えを深める
という段階である。また、ワークシートにより自分の思いや考えを持たせる。

7 準備物 場面絵，ワークシー

8 学習過程

	学 習 活 動	主な発問と児童の心の動き	支援(○)・評価(★)・改善点(◎)
導 入	1 「組体操」のビデオを見る。	○ビデオをみた感想を発表しましょう。 ・頑張って練習したな。 ・うまく行ってよかったな。 ・一生懸命したな。	○資料に関する関心を高める。
展 開	2 資料「組体操」前段を聞き、つよしの気持ちについて考える。	○わたる君があやまった時、つよし君はどんな気持ちで顔をそむけたでしょう。 ・「ごめん。」と言われても・・・。 ・僕の気持ちが分かる？ ・せっかく練習してきたのに・・・。 ・最後の運動会が・・・思い出にならない。	○はりきっていたからよけいにゆるせない気持ちでいることに共感させる。
	3 資料「組体操」後段を聞き、つよしの気持ちについて考える。	◎お母さんの「一番つらい思いをしているのは、つよしじゃなくてわたる君だと思うよ。・・・」という言葉聞いたつよし君はどんなことを考えていたでしょう。 ・でも、一番つらいのはぼくだ。 ・運動会なんてもうしらない。 ・運動会に出るよりもっといい勉強ってなんだよ。 ・わたるもつらいかな。 [補助発問] ●運動会に出るために練習してきたのに、お母さんはつよしに何を伝えたかったのでしょうか。 ・反対につよしがけがをさせていたかもしれない。そうなると思うか。 ・けがをさせてしまった気持ちも考えてほしい。 ・わたるくんきっと自分を責めている。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px;"> ワークシートを用いることにより、つよしの気持ちをじっくり考えさせる。 </div> ○自分の立場を離れ、わたるの立場に立って、わたるを許せた理由を話し合わせる。
	4 この後のつよしの行動について予想する。	○つよしはわたるに電話でどんなことを話したのでしょうか。 ・がんばってね。 ・僕の方までやってね。 ・失敗するなよ。	
	5 自分の考えを振り返り交流する。	○今日の学習で気付いたことは何ですか。	
終 末	6 心のノートを読む。	○「やわらかいところ」とはどんな心でしょう。 ・なんでも受け入れられる。 ・相手を許す。	★ちがう立場の人の気持ちを思いやることの大切さに気付いたか。 広い心で自分と異なる意見や考えを大切にしようとする気持ちをもてたか。 ○ワークシートを活用し、本時の道徳的価値について自分の考えをまとめさせる。

9 板書計画



10 ワークシート

組体操

名前

○お母さんの「一番つらい思いをしているのは、つよしじゃなくてわたる君だと思うよ。・・・」という言葉聞いたつよし君はどんなことを考えていたでしょう。

○今日の学習で気付いたことを書きましょう